

特集Ⅱ

令和3年中に発生した 長万部町の 交通事故を分析



ストップ・ザ・交通事故
めざせ 安全で
安心な北海道

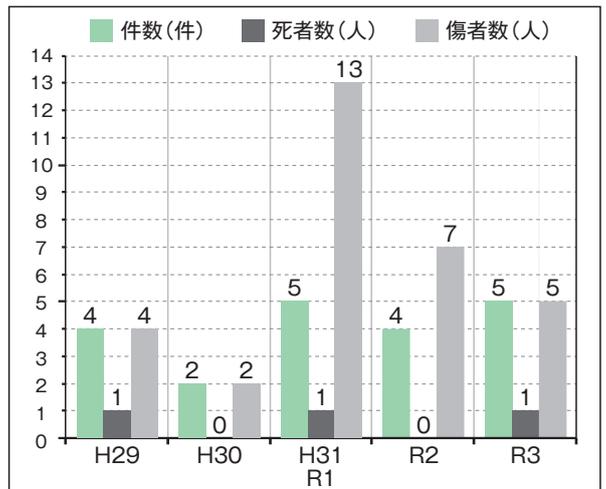
交通事故の多くは、脇見運転、居眠り運転、一時不停止など運転手のちょっとした不注意によって発生し、わずかな気の緩みが予期せぬ悲劇を生んでいきます。そして被害者になっても、加害者になっても、一瞬のうちには幸せな家庭を崩壊させてしまうのが、交通事故です。

全国の交通事故死者数は、2,636人で前年より203人減少し、5年連続で最少を更新しております。最も多かった昭和45年の1万6,765人と比べ6分の1以下となりました。北海道においても、交通事故死者数は前年より24人減少し120人と順位をふたつ上げて全国ワースト5位と好転しております。

交通事故が減少したとは言え、尊い命が失われている事に変わりありません。悲惨な交通事故の犠牲者を一人でも減少させるため、飲酒運転は厳禁、スピードは控えめに車間距離を十分にとり、前方を確認し、ブレーキは早めにかけて衝突を回避するよう努めましょう。

今月号では、交通事故撲滅の願いを込めて、昨年一年間に私たちの町で発生した交通事故を分析してみました。

年別町内発生交通事故の推移

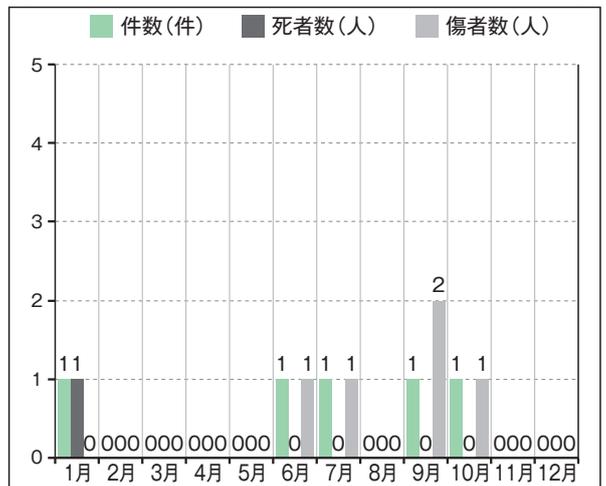


1人が死亡
5人が重軽傷

長万部町内では昨年発生した交通事故は5件、傷者数は5人、死者数1人、前年に比べ件数で1件、死者数1人と増加し、傷者数2人減少となっております。交通事故は比較的通見通しの良い直線道路でスピードの出し過ぎや無理な追い越し・居眠り運転などが要因となっております。

また、残念なことに令和3年1月国道5号線において、死亡事故が発生し町内の高齢者1人が犠牲となってしまいました。

月別町内発生交通事故の推移



交通事故のすべてが
国道5号線で

道路別の発生状況では、国道5号線で5件発生し、うち1件死亡事故も発生しています。比較的直線で見通しの良い道路であることが、速度の出し過ぎ・脇見運転や追突事故原因と考えられます。また、一般的に事故を起こしやすい場所として市街地の交差点が70%以上と最も事故に遭いやすいです。直線道路と比べて見通しが悪く、出会い頭の衝突事故や右直事故などが発生しやすいため、このような場所を運転する際には、一時停止や徐行を心がけ十分注意しましょう。

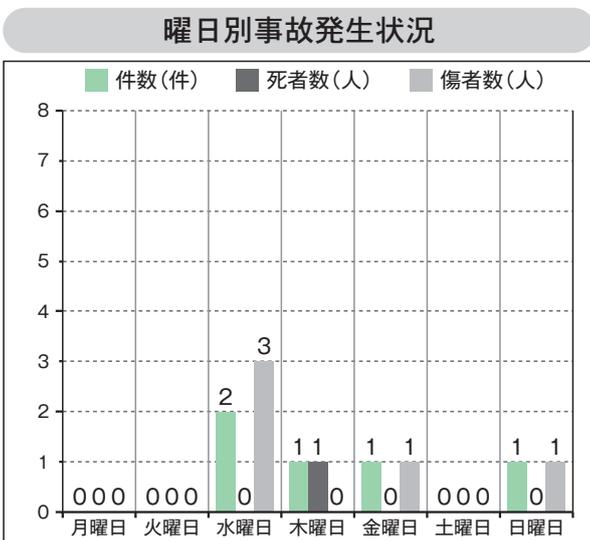
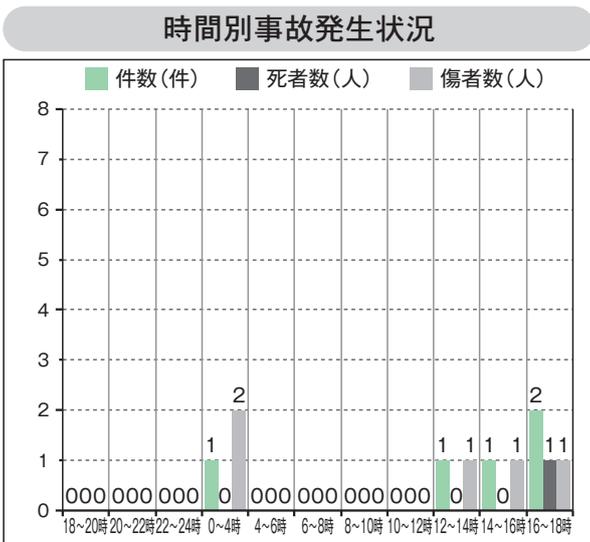
安全運転義務違反
が事故の原因に

事故類型別の発生状況では人対車両で1件、追突が3件、追越抜抜時による事故が1件発生しています。法令違反別の発生状況は、前方不注意2件、交差点安全通行1件、動静不注視1件、不明1件となっております。ちょっとした気の緩みは大きな事故に繋がります。あなたと相手の一生を台無しにしてしまいます。便利な車も安全運転を怠ると、恐ろしい凶器になります。車を運転するときは時間と気持ちに余裕を持ち、車間距離を広めに取り、適度な緊張感を持って運転しましょう。

交通事故を減少するためには、
町民、ドライバー、歩行者等一人
ひとりのご理解ご協力が必要です。
みんなで交通事故を減らし住み
やすい町にしましょう!!



道路別	事故類型別	法令違反別	通行目的別
■国道 ・5号線 [5件・6人] (うち1人死亡) [] 事故件数・傷者数	■人対車両 ・横断中 [1件・1人] (うち1人死亡) ■車両相互 ・追突 [3件・4人] ・その他 [1件・1人] [] 事故件数・傷者数	■法令違反 ・交差点安全運行 [1件・1人] (うち1人死亡) ■安全運転義務違反 ・前方不注意 [2件・3人] ・動静不注視 [1件・1人] ・不明 [1件・1人] [] 事故件数・傷者数	■業務 [2件・2人] (うち1人死亡) ■通院 [1件・1人] ■帰省 [1件・2人] ■不明 [1件・1人] [] 事故件数・傷者数



ゆとりを持った
安全運転で

疲れたときには
こまめな休憩を

高齢者の事故が
増えています

時間別の発生状況では5件中2件が日中で夜間に1件発生し夕方も2件発生しています。曜日別では水曜日に2件、木金、日曜日に1件ずつ発生し、木曜日には死亡事故が発生し町内の高齢者が犠牲になっていきます。通行目的別では業務2件、通院、帰省1件ずつ、不明1件発生しています。目的は様々ですが、時間に余裕がないとスピードの出し過ぎや前方不注意などが多くなります。

長時間運転すると感じる疲れには、腰や肩にくる肉体的な疲れがあります。特に目には大きな負担がかかります。車を走らせると、視界に映る景色が刻一刻と変わっていき、たくさん情報が入り込んでいきます。また、運転中は前方の標識から手元の機器類まで絶えず目を動かすため、ピントを合わせる眼の筋肉が疲れてきます。この疲れが蓄積し、全身の疲れに繋がります。これを防ぐために1~2時間おきにこまめな休憩を取り、運転席から降りて、軽めの体操などを行いましょう。

全国的に交通事故による死者数は毎年減少傾向にある一方で、75歳以上の高齢歩行者が昨年の2倍近くに及んでいます。特に道南では、10月から11月にかけて夜間における高齢歩行者被害の交通事故が多発しています。高齢歩行者を見かけたら減速するなど、高齢者の動きに対応できるようにやさしい運転を心がけましょう。また、年齢を重ねるにつれて、安全運転に必要な記憶力や判断力などの認知機能は、低下していきます。運転に自信が無くなったり家族から「運転が心配」と言われるようになったら自主返納を考えましょう。